

令和7年度

2 学年

作業学習（窯業科）

シラバス

年間目標		・窯業の作業を通じて、働くうえで必要となる基礎的・基本的な知識・技能を理解することができる。 ・協働することを通じて働き方を考えるとともに、望ましいコミュニケーションの方法を探究することができる。		
	単元題材	目標		学習内容
4・5	窯業の基礎確認 ～板づくりの基礎確認	知識・技能	・板づくりによる皿の製作に必要な知識・技能を理解することができる。	・作業学習とは何か ・身だしなみ、道具、準備、片付け ・清掃の仕方ほか学習のルール ・板づくりの技法と工夫 ・板づくりマグカップ、受注製品の製作 ・吹きつけなど釉掛け方法の共有 ・振り返り
		思考力・判断力・表現力等	・目標をもち、課題を理解しながら改善の工夫を重ねることができる。	
		学びに向かう力、人間性	・商品になることを意識し、丁寧に取り組むことができる。	
6・7	窯業の基礎 ～板づくり、電動ろくろでの高台つけ	知識・技能	・様々な技法に必要な知識・技能を理解することができる。	・よりを使う皿の製作技法 ・生徒同士での制作方法共有 ・電動ろくろの使用方法和注意事項 ・振り返り
		思考力・判断力・表現力等	・目標をもち、課題を理解しながら改善の工夫を重ねることができる。	
		学びに向かう力、人間性	・商品になることを意識し、丁寧に取り組むことができる。	
7～1	学校祭の販売に向けた準備	知識・技能	・製作方法や販売の仕方を理解し、取り組むことができる。	・陶器小物の製作 ・板づくりによる様々な皿の製作 ・役割を分担した仕事の仕方 ・販売の準備（製品企画会議、接客、レジ、広告、表示、レイアウト等） ・振り返り
		思考力・判断力・表現力等	・目標をもち、課題を理解しながら改善の工夫を重ねることができる。	
		学びに向かう力、人間性	・商品になることを意識し、丁寧に取り組むことができる。	
1～3	新しい技法 ～水引きによるカップ・茶碗類の製作、様々な釉がけの方法	知識・技能	・新しい技法を用いた製作に必要な知識・技能を理解することができる。	・水引きの技法(立体物) ・様々な釉がけ（ズブがけ以外） ・様々な立体製品の製作 ・新たな製品の開発 ・振り返り
		思考力・判断力・表現力等	・新たな目標をもち、課題改善に向けた工夫を続けることができる。	
		学びに向かう力、人間性	・次年度の商品になる可能性を意識し、集中して取り組むことができる。	
通 年	受注生産 返礼品生産 コラボ商品生産	知識・技能	・製品の規格を理解し、正確に生産することができる。	・受注、返礼品（ふるさと納税）、コラボ商品（他の学科製品と合わせた商品販売）の仕組み ・経済、流通の仕組みの基礎 ・各単元で学んだ知識・技能を生かした製品づくり ・各単元で学んだことを生かした協働の仕方
		思考力・判断力・表現力等	・生産効率を向上させるための工夫をすることができる。	
		学びに向かう力、人間性	・納品先のことを意識し、丁寧に取り組むことができる。	